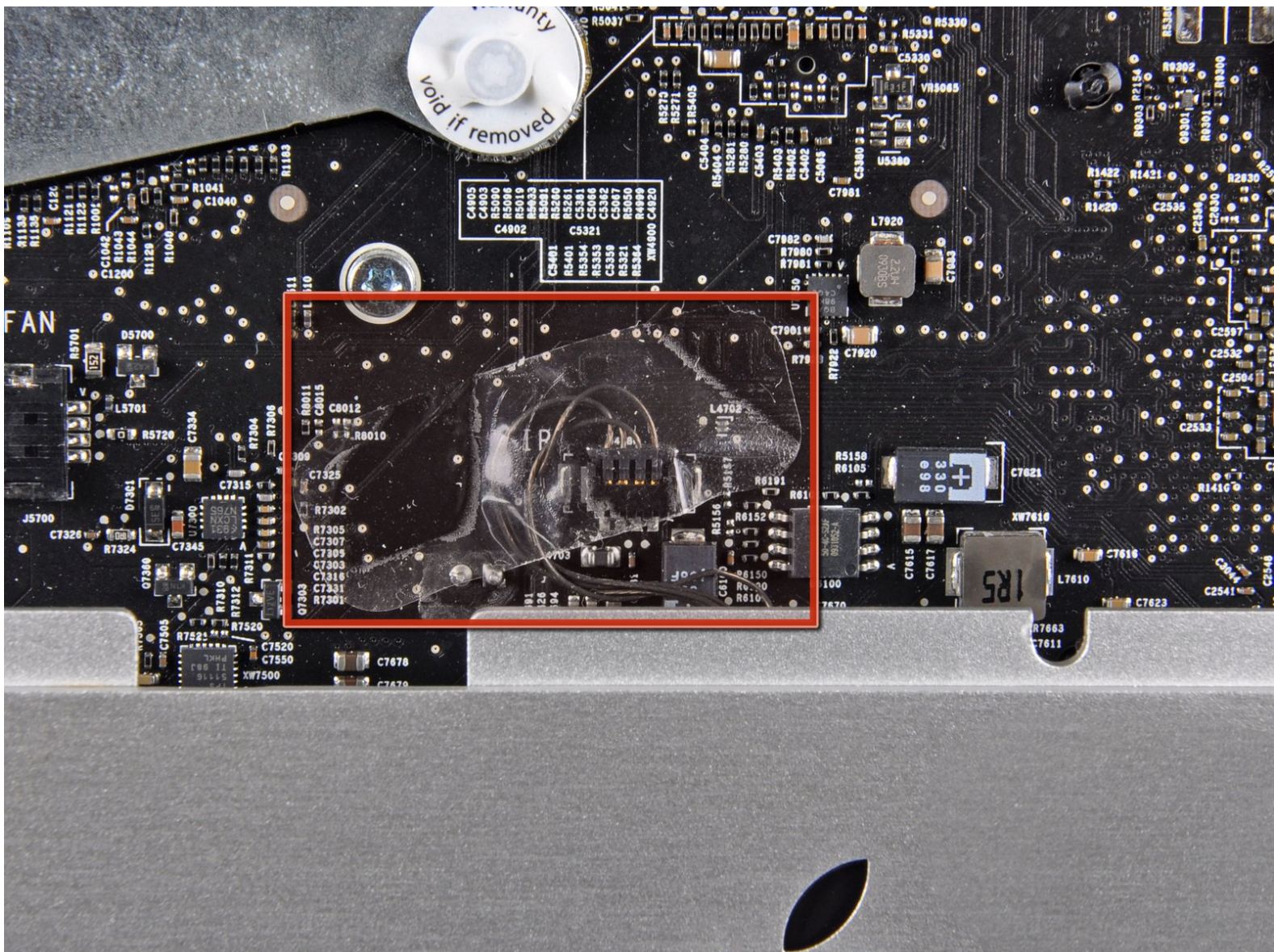




iMac Intel 21.5インチ EMC 2308のIRボードの交換

このガイドを参照して、スリープライト/IRボードを交換しましょう。

作成者: Andrew Bookholt



はじめに

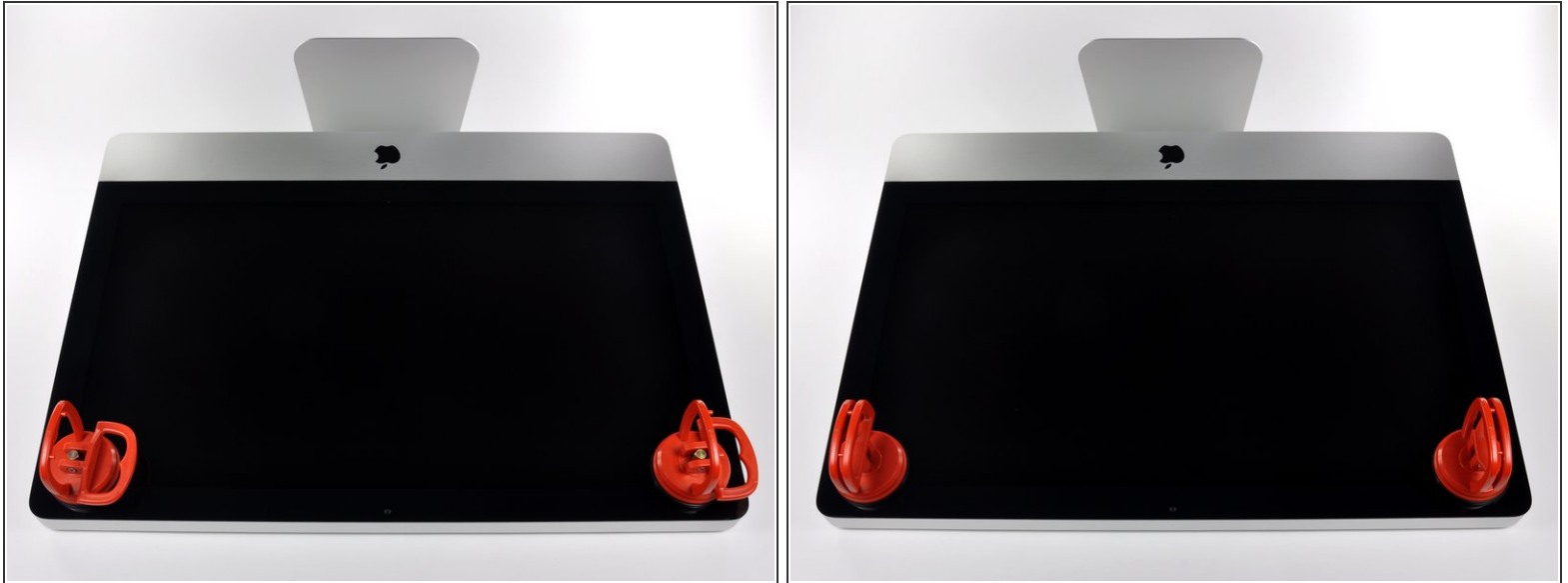
このガイドを参照して、スリープライト/IRボードを交換しましょう。



ツール:

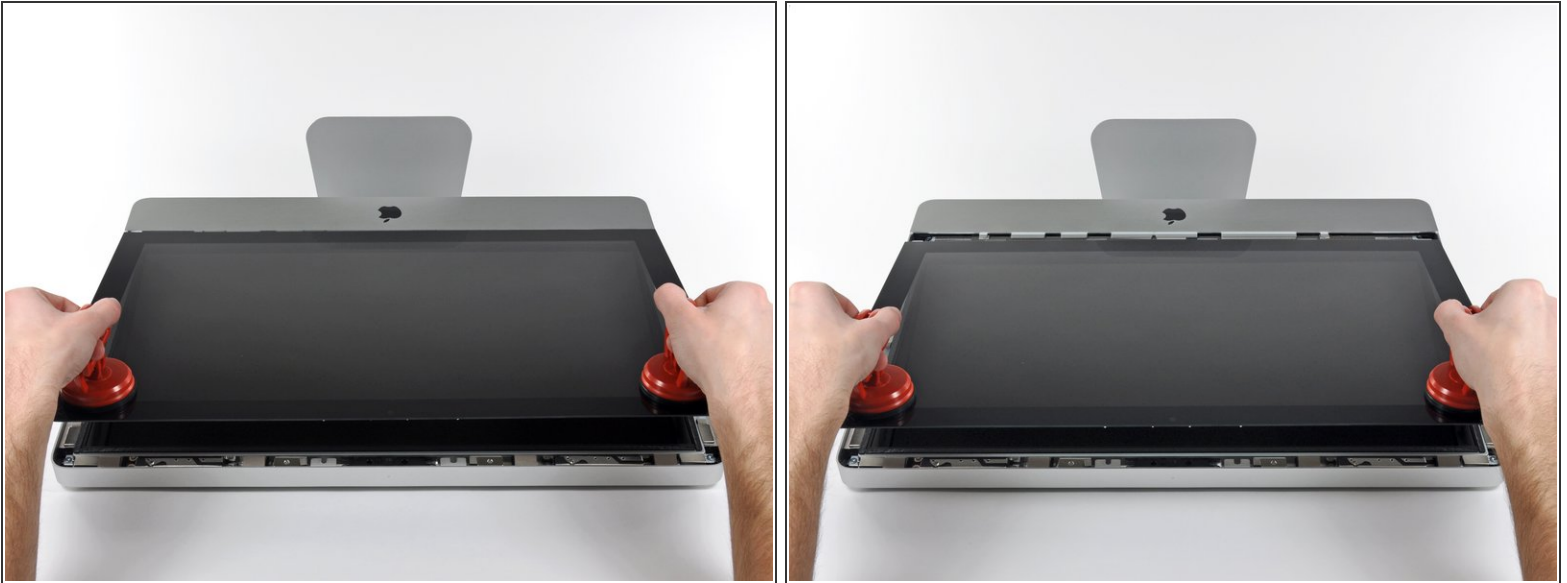
- 高荷重用吸盤カップ(2個セット) (1)
- T10 トルクスドライバー (1)

手順 1 — ガラスパネル



- ① 作業を始める前に、iMacの電源を切り、画像のように本体を倒して、柔らかい表面上に載せてください。
- ガラスパネルの上部コーナーの2箇所に吸盤カップを取り付けます。
- ① iFixitが販売している[吸盤カップ](#)を取り付けるには、まず吸盤カップの持ち手ハンドルをガラスパネルの表面に対して水平になるように上げてください。ガラスに吸盤カップを軽く装着して、もう一方のハンドルも平行になるように上げてください。
- 吸盤カップがうまく装着しない場合は、ガラスパネルと吸盤カップを中性洗剤などで綺麗に拭き取ってください。

手順 2



- ゆっくりとガラスパネルをLCD表面に垂直になるように持ち上げて、スチール製のマウントピン
- ガラスパネルをiMacの底側端から引き抜き、丁寧に脇に置いてください。

☑ 再組み立ての際には、ガラスパネルの内側やLCD表面を綺麗に拭いてください。デバイスの電源を入れると、ほこりや指紋が内部に閉じ込められ、視界が遮られてしまうことがあります。

手順 3 — ディスプレイ



- アウターケースからディスプレイを固定している8 mm T10トルクスネジを8本外します。

① 最後の2枚の画像はディスプレイ両側の詳細です。

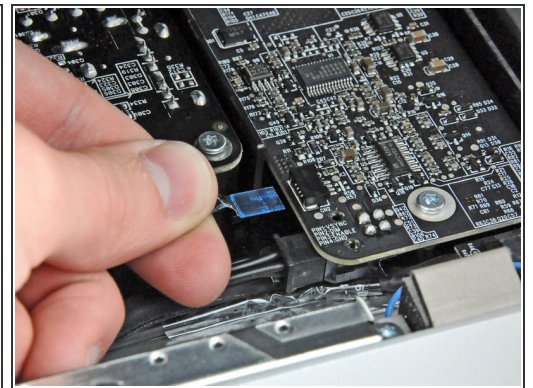
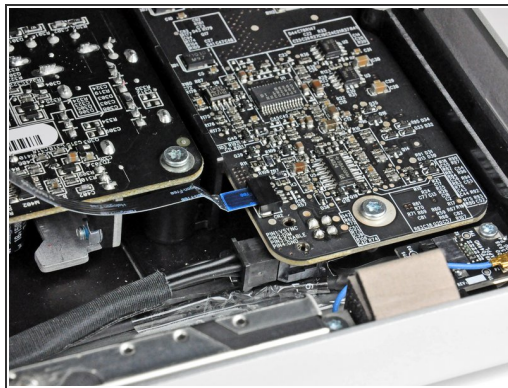
手順 4



- アウターケースからディスプレイ上部端をわずかに持ち上げます。

⚠ あまり高く持ち上げすぎないでください。ロジックボードとディスプレイは数本のケーブルで繋がったままです。

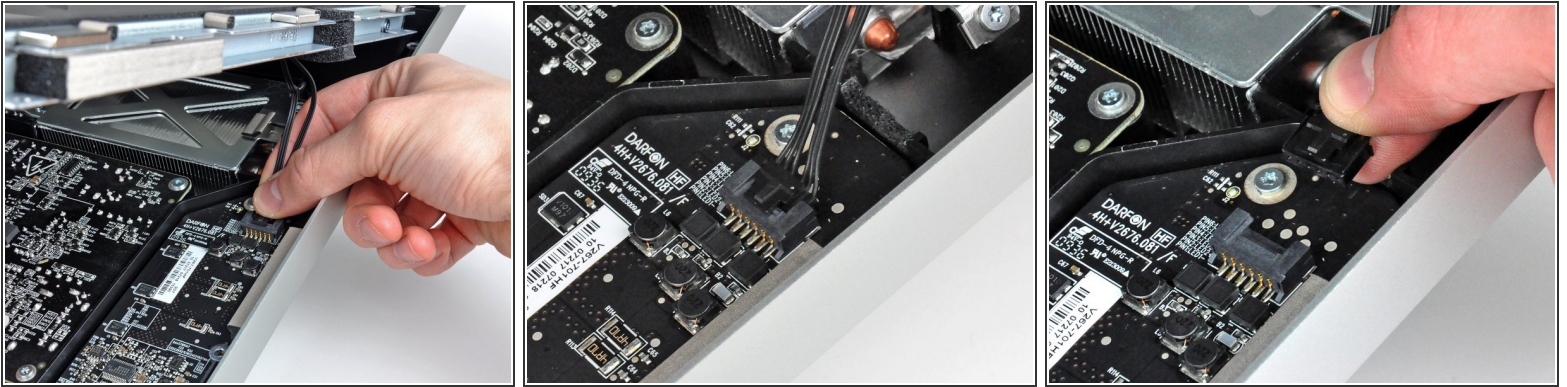
手順 5



- iMacの左上隅付近にあるLEDドライバボードのソケットから垂直の同期リボンケーブルを引き出します。

i 垂直の同期リボンケーブル端はZIFになっていますが、ソケットにはロックや固定フラップが付いていません。ケーブルをソケットからiMacのオプティカルドライブ側に引き抜いて、LEDドライバボードから外します。

手順 6



- LEDバックライト電源ケーブルをLEDドライバボードから接続を外すため、ディスプレイをアウターケースから外します。
- ⓘ コネクタをソケットから引き離しながら (iMacの下端に向かって) ロック機構を押し下げて、LEDバックライト電源ケーブルの接続を外します。

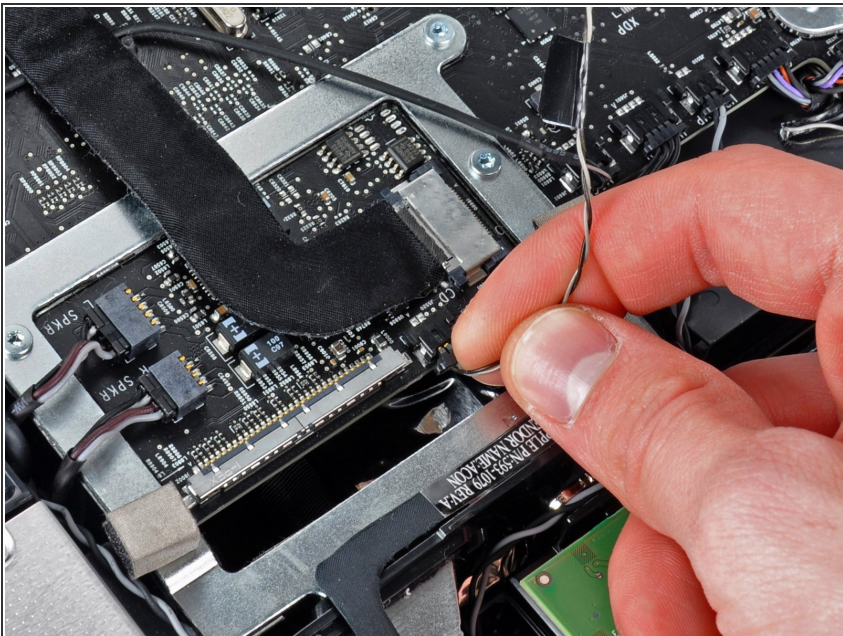
手順 7



- ロジックボード上のソケットからディスプレイデータケーブルコネクタの接続を外すため、2つのコネクタケーブルのアーム両側を掴みます。
- ディスプレイデータケーブルのコネクタを、ロジックボードのソケットから引き抜きます。

⚠ このケーブルは簡単にダメージが入ってしまうため、ケーブルの接続を外す時、再接続するときはご注意ください。

手順 8



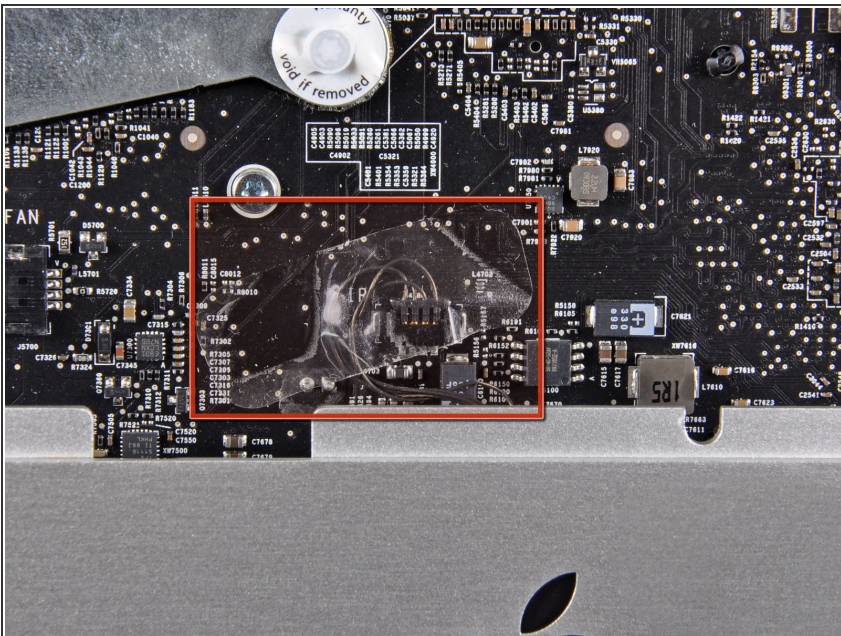
- ロジックボード上のソケットからLCDサーマルセンサケーブルのコネクタを外します。
- i** 作業完了後に、ファンがフルスピードで回転している場合は、この接続またはハードドライブのサーマルセンサケーブルを点検してください。

手順 9



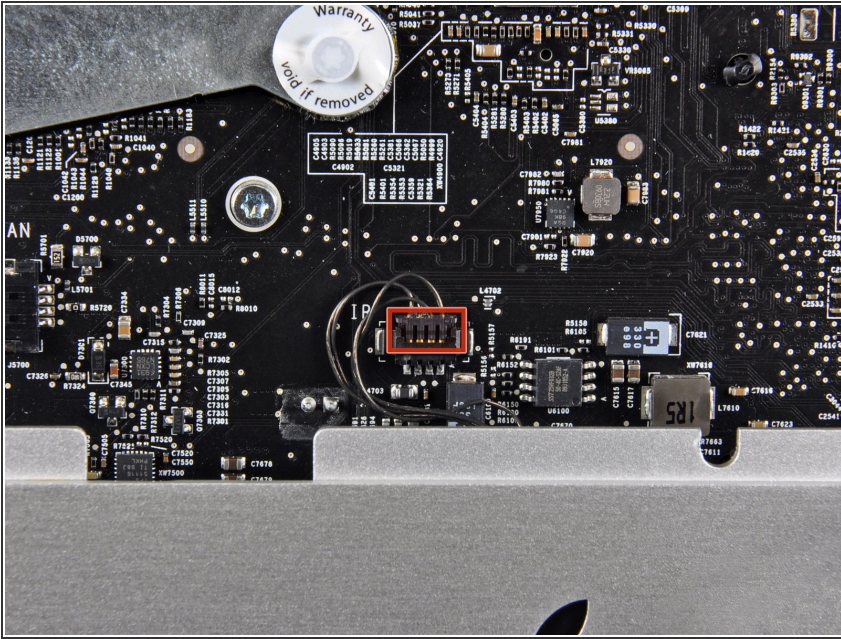
- iMacの上部端に向けて、ディスプレイを丁寧に引き抜いてください。そしてアウターケースから持ち上げて取り出します。作業中、ケーブルが引っかかっているか確認してください。

手順 10 — IRボード



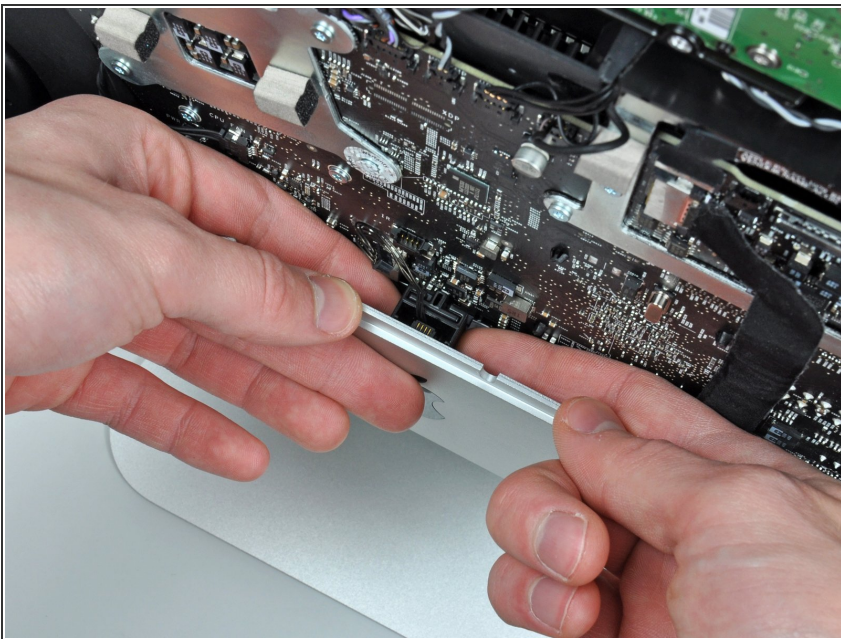
- ① IRボードコネクタを覆っている透明テープがあれば剥がします。

手順 11



- IRボードコネクタをiMac上部に向けて引き寄せ、ロジックボードから接続を外します。

手順 12



- 指を使って、アウターケースからIRセンサーアセンブリをまっすぐ持ち上げます。